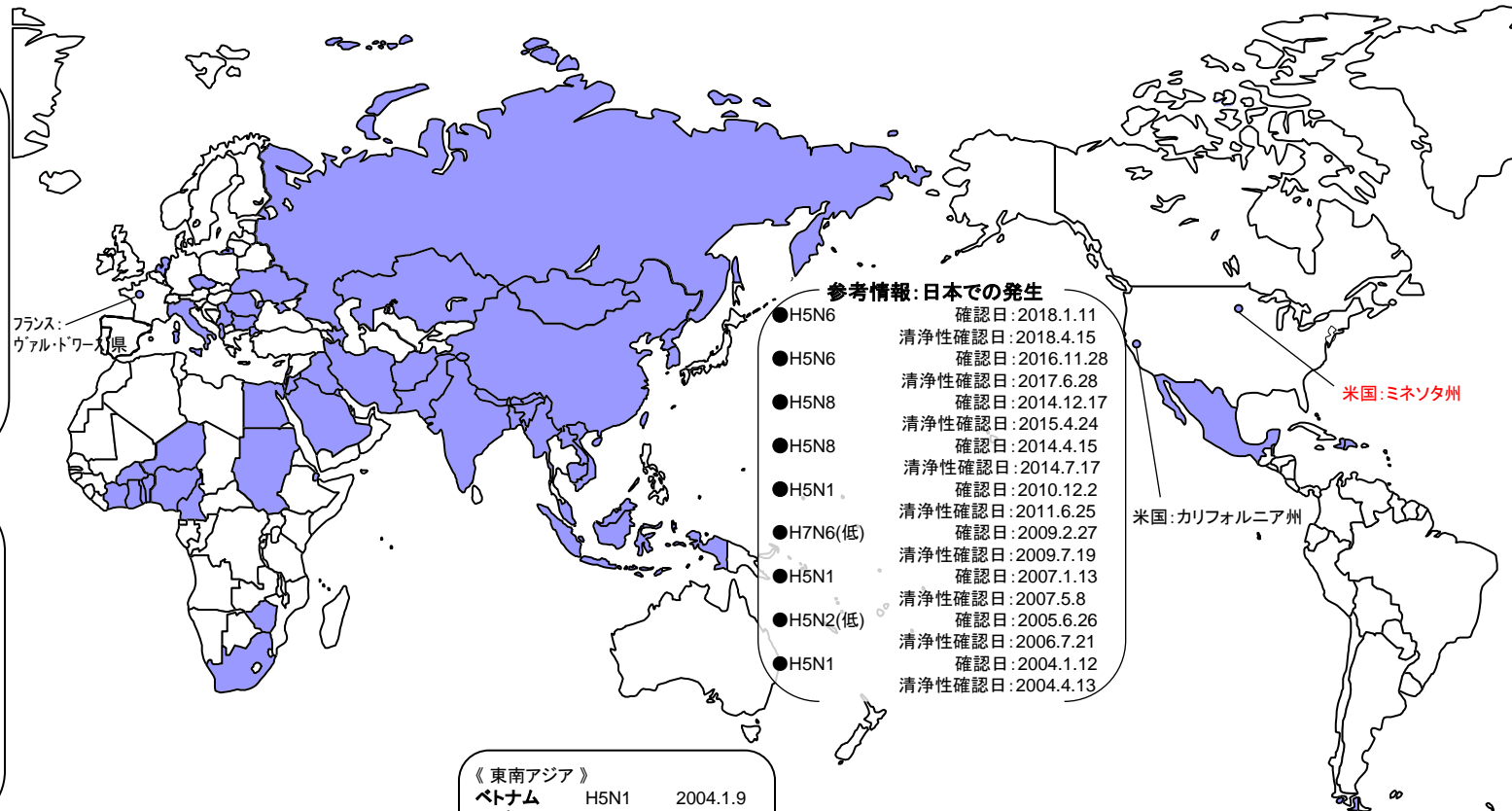


# 家きんの高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの

## 発生等に伴う輸入停止状況 ■ = 輸入停止国【55か国/地域】



《ヨーロッパ》

ロシア	H5N1	2005.7.22
ウクライナ	H5N1	2005.12.6
イタリア	H7N3(低)	2002.10.23
ルーマニア	H5N1	2005.10.11
アルバニア	H5N1	2006.3.9
チェコ	H5N1	2007.6.22
セルビア・モンテネグロ	H5N1	2006.4.5
フランス		
ヴァル・ドワーズ県	H7N7(低)	2018.7.12
ブルガリア	H5N8	2017.10.19

《アフリカ》

ナイジェリア	H5N1	2006.2.9
南アフリカ	H5N2	2004.8.9
ジンバブエ	H5N2	2005.12.5
エジプト	H5N1	2006.2.21
ニジェール	H5N1	2006.3.1
カメルーン	H5N1	2006.3.14
スーダン	H5N1	2006.4.21
コートジボワール	H5N1	2006.4.27
ブルキナファソ	H5N1	2006.5.31
ジブチ	H5N1	2006.5.31
ガーナ	H5N1	2007.5.7
トーゴ	H5N1	2007.6.26
ベナン	H5N1	2007.12.6

《西アジア》

イラク	H5N1	2006.2.6
イスラエル	H5N1	2006.3.20
ヨルダン	H5N1	2006.3.27
パレスチナ自治区	H5N1	2006.4.18
クウェート	H5N1	2007.3.1
サウジアラビア	H5N1	2007.3.27
アゼルバイジャン	H5N1	2006.3.1
レバノン	(低)	2009

《南アジア》

バキスタン	H7N3	2004.1.27
インド	H5N1	2006.2.21
アフガニスタン	H5N1	2006.3.17
パングラデシュ	H5N1	2007.3.27
イラン	H5N1	2008.1.17
ネパール	H5N1	2009.1.19
ブータン	H5N1	2010.2.24

《東南アジア》

ベトナム	H5N1	2004.1.9
インドネシア	H5N1	2004.1.25
ラオス	H5(不明)	2004.1.27
カンボジア	H5N1	2004.1.25
ミャンマー	H5N1	2006.3.14
マレーシア	H5N1	2018.8.7

《中央アジア》

カザフスタン	H5N1	2005.8.4
--------	------	----------

### 参考情報：日本での発生

- H5N6 確認日：2018.1.11  
清浄性確認日：2018.4.15
- H5N6 確認日：2016.11.28  
清浄性確認日：2017.6.28
- H5N8 確認日：2014.12.17  
清浄性確認日：2015.4.24
- H5N8 確認日：2014.4.15  
清浄性確認日：2014.7.17
- H5N1 確認日：2010.12.2  
清浄性確認日：2011.6.25
- H7N6(低) 確認日：2009.2.27  
清浄性確認日：2009.7.19
- H5N1 確認日：2007.1.13  
清浄性確認日：2007.5.8
- H5N2(低) 確認日：2005.6.26  
清浄性確認日：2006.7.21
- H5N1 確認日：2004.1.12  
清浄性確認日：2004.4.13

米国：ミネソタ州  
米国：カリフォルニア州

※血清型は、輸入停止の原因となった型を示す

※日付は確認日(日本が発生等を確認し、輸入停止等の対応を行った日)

※病原性が不明又は低病原性鳥インフルエンザであることが確認できている場合、垂型表記の後ろにそれぞれ(不明)又は(低)と表記

※赤字は更新箇所

2018年10月23日現在